

～～第8378回～～

鳳来寺山

～H30. 2. 18～

晴天に恵まれた朝、浜北Pを4名にて出発した。静岡県から愛知県に向かって、山間の部落を抜け一路鳳来寺山を目指した。1時間ほどで鳳来寺参道の道の駐車場に車を止めた。以前は門前町として賑わった昔の面影は残っているが、山岳道路が出来てからは閑散としている。準備体操の後、参道を出発した。舗装道路が終わり、石の階段が続いた。始めは緩やかな登りだったが途中から急こう配になった。つづら折りの石段と前に立ちはだかる岩の絶壁は、修験道の雰囲気そのままであった。ようやく本堂に出た。そこからは、崖の横を縫うように鉄の階段が掛けてあり、慎重に足を運んだ。途中所々で門前町と遠くの間々を見渡すことができた。そうこうするうちに朽ちそうだった奥の院にたどり着いた。そこからは尾根伝いに鳳来寺山山頂を目指した。山頂は「鳳来寺山々頂」の標識が立っていた。そこから棚山方面に東海自然歩道を行くとクロ岩に出た。そこは見晴らしが効いた。雪で白く輝いた南アルプスが一望できた。仙丈ヶ岳、塩見岳、赤石岳、聖岳と思われる山並みがくっきりと見えた。しばらく眺望を楽しんだ後、鳳来寺山山頂に戻り、周遊コースを行き、天狗岩に出た。そこからも鳳来寺の町並みが眼下に見えた。そこで昼食をとり、さらに下っていくと岩場の鷹打ち台に出た。長久手方面から来た若い娘さん達が賑やかにおしゃべりをしていて、若かった昔の雰囲気を思い出させた。そこでも眺望を楽しんだ後、さらに下っていくと天空を突き上げる老杉の林の中にどっしりと東照宮があった。家康出身の地域だけあって、日光東照宮ほどではないが威厳を感じるものであった。そこから再び鳳来寺本堂に出て、今朝登ってきた石段を下って行った。10年ぶりの鳳来寺山は、岩山で変化に富んだ楽しめる山だと改めて思った。途中、鳳来寺山自然科学博物館に立ち寄り、仏法僧の鳴き声と、動植物や中央構造線沿いで採掘された岩石標本を見学し、帰路に着いた。

参加者：4名

天候：晴れ

地図：三河大野

コースタイム：浜松 P700＝鳳来寺山登山口 810…鳳来寺本堂 940…奥の院 1010…鳳来寺山頂 1020…クロ岩 1040…天狗岩 1140…鷹打ち台 1250…東照宮 1330…鳳来寺本堂 1340…鳳来寺山登山口 1500＝浜松 P1700

記録：浜松支部 K. I